

SHIRO

PAPER

KOREA



4 582757 639673

Issue

March
2025

1

2

INTRODUCTION

SHIROのものづくり
私たちが大切にしていること

10

SEONGSU

POINT OF VIEWに聞く
ソンスの歴史

14

BRICKS

生産者を訪ねる旅
ヨンチョン郡のレンガ工場へ



自然が育んだ素材を シンプルに使い 毎日使いたいと思える製品を 作り続けています

SHIROは日本生まれのコスメティックブランド。

自然が育んだ植物など素材のちからを最大限に引き出して
ものづくりを続けています。

日本国内に28店舗を展開し、ロンドン、ニューヨークと台北に出店。
2025年4月、韓国初となる路面店が聖水にオープンします。

Text: SHIN SASAKI

* ニューヨーク店は 2020 年に閉店



毎日使いたいものをつくる

SHIROは「自分たちが毎日使いたいものをつくる」という想いを
抱いてスタートした日本生まれのコスメティックブランドです。自然
素材をシンプルに使い、スキンケア・メイクアップ・フレグランスアイ
テムを提案しています。海、畑、森を訪れ、自然が育んだ素材に出
会い、素材の力を最大限に引き出す工夫を続けてきました。



ものづくりから販売まで 一貫して自社で行っています

私たちは、製品の企画/開発から製造、販売までを一貫して自社
で行っています。それは、品質管理を徹底し、安心して安全な製品を
自信を持って皆さんにお届けしたいから。北海道砂川市にある「み
んなの工場」の開発室には、日本各地からさまざまな自然素材が届
きます。素材を乾燥させてみたり、生のままエキスを抽出してみたり。
日々、試行錯誤を重ねています。

工場と、工場に併設されているショップやカフェを隔てるのはたっ
た1枚の透明なガラスしかなく、ともすると隠しがちなものづくりの
工程すべてをSHIROはご覧いただけるように工場を開いています。

生産者と出会うことを大切に

私たちは、生産者のもとを訪れ、直接話すことを大切にしています。
カタログやインターネットで何でも調べたり、購入できる時代ですが、
素敵なことや楽しいことは人との出会いから生まれると信じています。
少し遠回りなのかもしれませんが、海で漁師と話し、木材が必要に
なれば木こりたちに会いに森へ。お店づくりにレンガが必要になれば
レンガ工場へ。そして、生産者からメッセージを受け取り、それを
皆さんにお伝えすることが私たちの役割です。

また、私たちの営みすべてが地球を汚さないように、仕器を再利
用したり、捨てる時のことを考えて製品やお店をつくるなど、でき
る限り廃棄物を出さないものづくりを実践しています。



SHIROのベストセラー製品をご紹介 日常使いにも、ギフトにも

「どの製品から試してみよう？」と迷っている方のために、定番製品の中から特に人気の高いアイテムをご紹介します。

日常にそっと寄り添ってくれるお気に入り、ぜひ見つけてください。

FRAGRANCE 1

ナチュラルでありながら心地よく香るサボン、ホワイトリリー、ホワイトティ、アールグレイ、キンモクセイ。定番である5種の他に、季節に寄り添った限定の香りも提案しています。



SAVON EAU DE PARFUM

サボン オードパルファン
40mL / 10mL
46,000 ユー / 18,000 ユー

“SHIRO”といえばサボン”と言われるほど、ブランドを代表する香りです。シトラスなどのみずみずしい果実の甘さが漂う透明感のある石けんをイメージ。香りまとうアードパルファン・ボディミスト、お家で香りを楽しむフレグランスディフューザーや、ランドリーキッド、ファブリックフナーなどもご用意しています。



2



WHITE LILY EAU DE PARFUM

ホワイトリリー オードパルファン
40mL / 10mL
46,000 ユー / 18,000 ユー

リリーやマグノリアなど上品なフローラルに包まれる、洗練された香りのホワイトリリー。サボンに次いでご好評をいただいている香りです。お風呂に入れるバスオイルや、ボディミルクとボディオイルなどの保湿ケアができるアイテムもあるので、夜も心地よい香りに包まれて眠ることができます。

3



SAVON HAND SERUM

サボン ハンド美容液
55g
36,000 ユー

定番5種の香りには、それぞれその香りを満喫できるアイテムを揃えています。ギフトにもおすすめのハンド美容液やクレイハンドソープ、香りまとうヘアミストとヘアオイルもラインナップ。ご自身にもプレゼントにもおすすめです。

PERFUME 1

世界各国のパフューマーの記憶から生まれた、その人の個性を強く引き立たせるドラマチックな12種の香り。それぞれのストーリーから、あなたらしくられる香りやアイテムを選んでみて。



FREESIA MIST EAU DE PARFUM

フリージアミスト オードパルファン
100mL / 50mL
170,000 ユー / 120,000 ユー

PERFUMEシリーズで不動の人気を誇るFREESIA MIST。澄んだ空気に包まれたフラワーマーケットで、花束を抱えて行き交う人々と、太陽に反射して輝く花々をイメージしたフルーティーフローラルが香ります。100mLは12種類すべての香り、50mLは厳選した8種の香りをご用意しています。



2



FREESIA MIST HAND SERUM

フリージアミスト ハンド美容液
90g
54,000 ユー

みずみずしいテクスチャーで手肌を包み、しっとり潤すハンド美容液は、練り香水のように香りが広がります。FREESIA MIST、INTRODUCTION、SPICE OF LIFE、PARISIENNE FAVOURITE、PARISIAN SHIRT、SMOKED LEATHERの6種の香りをご用意しています。

3



SPICE OF LIFE SHAMPOO / CONDITIONER

スパイスオブライフ シャンプー/
コンディショナー
460mL / 450g
72,000 ユー / 78,000 ユー

SPICE OF LIFEの香りからシャンプー、コンディショナー、クレイハンドソープを。FREESIA MISTの香りからはボディソープをご用意。保湿成分には、スキンケア製品にも使っている白樺や、がごめ昆布、アロエなどの自然素材を入れていきます。ワンランク上のリラックスタイムをお過ごしください。

SKINCARE 1

高い保水力でふっくらとハリのある肌へ導くがごめ昆布や、米の恵みがたっぷり詰まった酒かす米ぬかなど、自然素材のちからを最大限引き出したスキンケアはSHIROならではの。



YUZU FACE MIST / OIL IN WATER

ゆずフェイスミスト / オイルインウォーター
120mL
49,000 ユー / 65,000 ユー

徳島県で育った“木頭ゆず”を使用したミストタイプの化粧水。香り高く爽やかなゆずの香りで、海外のお客様にも人気のアイテムです。肌に潤いを与えながらトラブルケアをしてくれるので、肌状態に合わせて、オイルありとなしの2種類からお選びください。顔だけでなく、髪や身体など全身にお使いいただけます。



2



SAKE KASU & KOMENUKA LOTION

酒かす米ぬか化粧水
120mL
45,000 ユー

たくさんのお客様にご愛用いただいているロングセラー化粧水。北海道産“酒かす”の浸透力と石川県産“米ぬか”の保湿力で、キメを整えてクリアな肌へ導きます。酒かすと米ぬかのエキスは丁寧に手で搾り、心地よいテクスチャーとやさしい香りに仕上げられています。米の恵みを濃密に閉じ込めた酒かす米ぬかフェイスマスクもおすすめです。

3



KOMBU SKIN SERUM

がごめ昆布美容液
60mL
66,000 ユー

北海道函館市近海でしか採れない希少な“がごめ昆布”を水に浸し、溶け出したとろみ成分でつくった美容液。強いとろみがつぶりの水分を抱え込み、ふっくらとハリのある肌を叶えます。がごめ昆布の最大の魅力は、糸を引くほどのとろみ。より濃密なとろみで潤いを保つ、がごめ昆布フェイスマスクもおすすめです。

MAKEUP 1

スキンケアと同じ発想でつくるメイクアップ製品。ナチュラルにとどまらない色彩で目元や唇にカラーをまとうアイテムや、素肌に潤いを与えて美しく見せるベースメイクを提案しています。



ESSENCE LIP

エッセンスリップオイル / バター
5g
38,000 ユー / 38,000 ユー

“シアバター”が唇をしっとり保湿し、ふっくら美しい唇を整えてくれます。塗るたびに爽やかなゆずのに癒やされるエッセンスリップオイルは、日中はもちろん、夜眠る前にもお使いいただけます。エッセンスリップバターは、ほのかな発色で唇の色を補正してくれます。さっと塗るだけでナチュラルな印象のリップが完成します。



2



SAKE KASU NAIL SERUM

酒かすネイル美容液
10mL
33,000 ユー

肌に素早くなじんで潤いを与えてくれる“酒かす”シリーズから生まれたネイル美容液。“アマニ油”を配合し、爪表面や甘皮にマッサージするようになじませることで、爪の保湿が叶います。同じく、アマニ油で爪をケアしながらカラーを楽しむ、垂れネイルもご用意。ネイルカラーやハンドソープなどとセットにして、ギフトを贈るのもおすすめです。

3



KOMENUKA EYE SHADOW CREAM

米ぬかアイシャドウクリーム
10g
41,000 ユー

肌をやさしく保湿する“米ぬか”と“シアバター”、豊かな香りの“ゆず”を配合したクリームタイプのアイシャドウ。潤いに満ちたスムーズなテクスチャーなのにピタッと肌にフィットして、偏光ボールの輝きを引き立つ高発色を長時間キープします。繊細な目元だからこそ、肌に負担をかけずにお湯でオフできる、スキンケア発想のカラーアイテムです。



ロンドン、NY、台北に続き 韓国に旗艦店をオープン 聖水にどんなお店をつくるのか

4月26日(土)、SHIROが韓国の聖水にオープンします。

地元の建材を使ったり、廃材を活用したり、
できるだけ廃棄物を出さないSHIROのお店づくり。
さて、聖水にはどんなお店ができるのでしょうか。

Photographs & Text: SHIN SASAKI

何をするかよりも、誰とするか 大切なのは人との出会い

SHIROが何か新しいことを始める時、そこにはいつも人との出会いがありました。農家、漁師、研究者、建築家など、職業や年齢はさまざまです。私たちは「何をするか」の前に「誰と一緒にするか」を大切にしてきました。そんなかけがえのないパートナーを、私たちは「たったひとり」と呼んでいます。韓国のたったひとり、いえ、たったふたりは、SE Internationalのハン・サンオク社長とイ・ジュヨンさんです。彼らを中心に輪が広がり、大好きな韓国にいよいよSHIROがオープンします。

聖水店オープンへの道のりは決して平坦ではありませんでした。物件は決まったものの、なかなかお店のイメージが湧かないまま時間が過ぎました。いつものようにお店をつくり、製品を並べることはできますが、それでは何かが足りない……。SHIRO 聖水店にはどんな方が来店するのでしょうか？ 彼女や彼はどんな部屋に住み、何を食べ、どんな将来を描いているのでしょうか？ 音楽を聴き、ドラマを見て、小説を読んでも、韓国の日常の暮らしはなかなか見えてきません。そんな中、ユン大統領が戒厳令を発令し、デモが起こるなど疑問は膨らむばかり。

そこで、まずは韓国をよく知ることから始めました。街を歩いて若者たちに声をかけ話を聞きました。また、塩田やレンガ工場など、生産者のもとを訪れ、韓国のものづくりについて学びました。コスメティックブランドには関係なさそうに見えるこのフィールドワークを、私たちは大切にしています。それはなぜなら、お店でSHIROの製品が購入されたあと、それらは皆さんの生活の一部になるからです。そのため、皆さんの日常生活がどんなものなのかを知りたいのです。



先が見えないからワクワクする 新しいブランドを立ち上げているよう

4月26日(土)、SHIROが聖水にオープンします。少くせのある素敵な建物が見つかりました。聖水は数多くのコスメティックブランドのお店が立ち並び、次々とポップアップストアがオープンする流行の発信地です。でも、私たちが惹かれたのは、靴の生産など、ものづくりの街として栄えた聖水でした。当時のレンガ倉庫が残る街の魅力にいち早く気がついた「POINT OF VIEW」のように、SHIROが地域に根ざしたお店になれば、と考えています。

SHIRO 聖水店の建物は、かつて靴製造工場でした。部屋に残されたミシン、床についた油のシミ、階段下のレンガ壁など、建物が持つものづくりの現場の記憶を上塗りせずに残しています。訪れた際、ぜひ店内を見渡してみてください。韓国店の準備を進めながら、私たちは2009年を思い出しました。それは日本でブランドを立ち上げ、1号店をオープンするために走り回っていた頃。忘れかけていた、当時の“情熱”や“勢い”が蘇ってきたのです。今、聖水店は、SHIROのどの店舗よりも強く熱い想いを発しています。この情熱がきっとSHIRO全体を活気づけるのでしょうか。

ブランドが誕生し、1.25坪という小さな1店舗からスタートし、試行錯誤を繰り返してきた16年間。そこで培われたSHIROの文化を韓国のスタッフと共有するのは簡単なことではありません。言語の違いだけではない壁があり、思うように進まないこともあります。でも、振り返ってみると日本でも数多くの失敗を繰り返してきました。現在定番と呼ばれている製品の背後には、数多くの失敗や試行錯誤がありました。成功秘話は繰り返し語られていますが、失敗談が語られることはほとんどありません。韓国店は、ブランドを立ち上げた頃のような情熱で満ちています。韓国らしく、聖水らしく、SHIROらしく。お店をつくるのと並行して、韓国での素材探しを始めています。皆さんに製品としてお届けできる日が来るのが楽しみです。





たった10年間で聖水を変えた 聖水の「たったひとり」 POINT OF VIEWの キムさんを訪ねました

レンガ造りの建物に路面店がズラリと並ぶ

聖水のメインストリート。

華やかな通りに凛と佇むのが、聖水を変えたひとり

キム・ジェウォンさんの文房具店POINT OF VIEWです。

どんな想いで聖水の街を発展させてきたのか。

SHIROブランドプロデューサーの今井浩恵と伺い、

歴史や背景を聞きました。

Photographs: SHIN SASAKI
Text: HIDEKAZU IZUMI

聖水の「たったひとり」 キム・ジェウォンさんののはなし

「今、聖水はポップアップストアや有名ブランドが集まるショッピングエリアになっていますよね。メインストリートにあるお店には、行列ができています。こうして人が集まるようになったことは嬉しいけれど、今のような発展を想像して聖水でお店を始めたわけではありません。だから正直なところ、少し複雑な気持ちです」

キムさんが言うように、聖水は今、期間限定で出店するポップアップストアで溢れています。短期間でお店が入れ替わるワクワク感は、地球環境に悪い高速な消費サイクルと表裏一体です。有名ブランドは街に華やかさをもたらしますが、他のショッピングエリアと同質化を招くことにもつながります。そうした現状に対して質問をすると、キムさんは複雑な表情を浮かべながら、聖水の歴史を教えてくださいました。お話を聞くにつれて、街を歩きながら感じていた華やかな最新トレンドエリアのイメージが、ガラリと変わりました。



聖水で始めた10年前 「イースト・ロンドン」を思い出した

聖水の街には、今でも街工場の香りが漂います。アパレルやコスメティックのお店の並びに革工房があり、ハンドメイドのレザーシューズやバッグを扱うお店もちらほら。自動車整備工場も点在していて、歩いていると「ギリギリ」という修理音が聞こえてくることもあり、工場地帯の名残を感じられます。

聖水が変わるきっかけとなったのは、キムさんが2014年に始めたカフェ「zagmachi」でした。当時、聖水の近くの大学で教鞭をとっていたキムさんは、放課後に学生たちが遠く離れたソウルの西側の繁華街、弘大や梨泰院まで遊びに行くのを目撃していました。弘大も梨泰院も素敵な街だけれど、もっと近くに面白い場所があれば、きっと学生たちも集まるはず。そんな想いから、もともと印刷工場だった場所を改装してカフェをオープンしたそうです。

「ロンドンに留学していた時、カルチャーの発信地であるイースト・ロンドンが開発される様子を目の当たりにしました。アーティストやクリエイティブな若者が集まり、カフェや古着屋があって素敵だった。私は聖水を、そんな場所にしたいと思いました」

zagmachiのオープンがきっかけになり、聖水にはカフェが集まり始めました。2016年には聖水のランドマークであるひとつのカフェ「大林倉庫」がオープンしました。この時期、zagmachiでは、写真展やフードマーケットなどが開催され、聖水は徐々に、感度の高い若者が訪れるお洒落な街に変わっていきました。カフェで注目を集めたことで、聖水にはさまざまな「機能」が追加されました。駅周辺にある10階建て前後の中規模ビルにオフィスが入居し始め、オフィスワーカーが増えました。仕事終わりのショッピング需要が生まれたことで、レンガ造りの革工房や倉庫などができました。さらに個性的なアパレルやコスメティックのお店がオープンしました。そうして街が便利になるにつれて、周辺にはマンションが建設され、今では高級住宅も点在するようになっています。

どうすれば聖水はユニークであり続けられるか

2020年、新型コロナウイルスが全世界に猛威を振りました。韓国でも小売業は大きな打撃を受け、将来の見通しの立ちにくい状況が続きました。コロナの収束が不透明な中、新規での出店は高リスク。そこで各ブランドは、期間限定でショップをオープンするポップアップストアを始めたのです。そして聖水は「常に新しいお店」があるトレンドの街に発展し、ソウル随一のショッピングエリアに変わっていきました。けれども、キムさんは「街の発展は良いことばかりではない」と言います。

「聖水が人気になったことで、出店の賃料が上がりました。その結果、資金に余裕のあるブランドの出店が増え、個人経営のユニークなお店が続けられなくなります。今のままでは、どんどん聖水から個性がなくなり、他の繁華街と変わらない街になってしまうかもしれません。イースト・ロンドンのような個性を保ち続けられるか、今がその分岐点だと思っています」

聖水への出店費用が高額になった今、個性的なお店は意外にも百貨店に集まりつつあります。ソウル随一の百貨店である「The Hyundai Seoul」の地下2階は今、「まるで少し前の聖水のように」とキムさんが言うほどユニークなお店が入店しています。若者をターゲットに、意図的に個性的なブランドを招致しているようです。百貨店は誘致するお店を自らの意思で決められるため、独自性を保ちやすい。一方、1つひとつの店舗が集まってショッピングエリアが形成されている聖水では、お店の出店、退店を街全体でコントロールができません。そうした環境下で、いかに聖水が面白くあり続けるかを、キムさんは問い続けていっているといます。

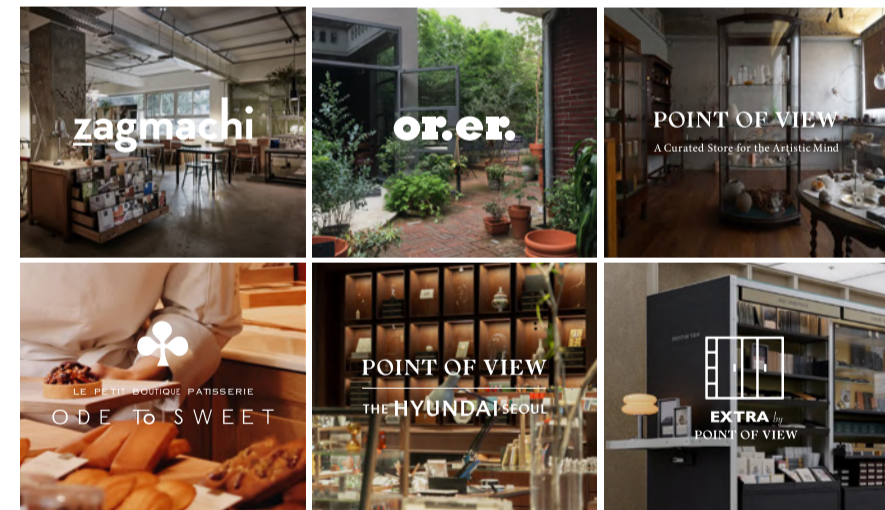


歴史や想いを引き継ぐその土地に合った店舗づくり

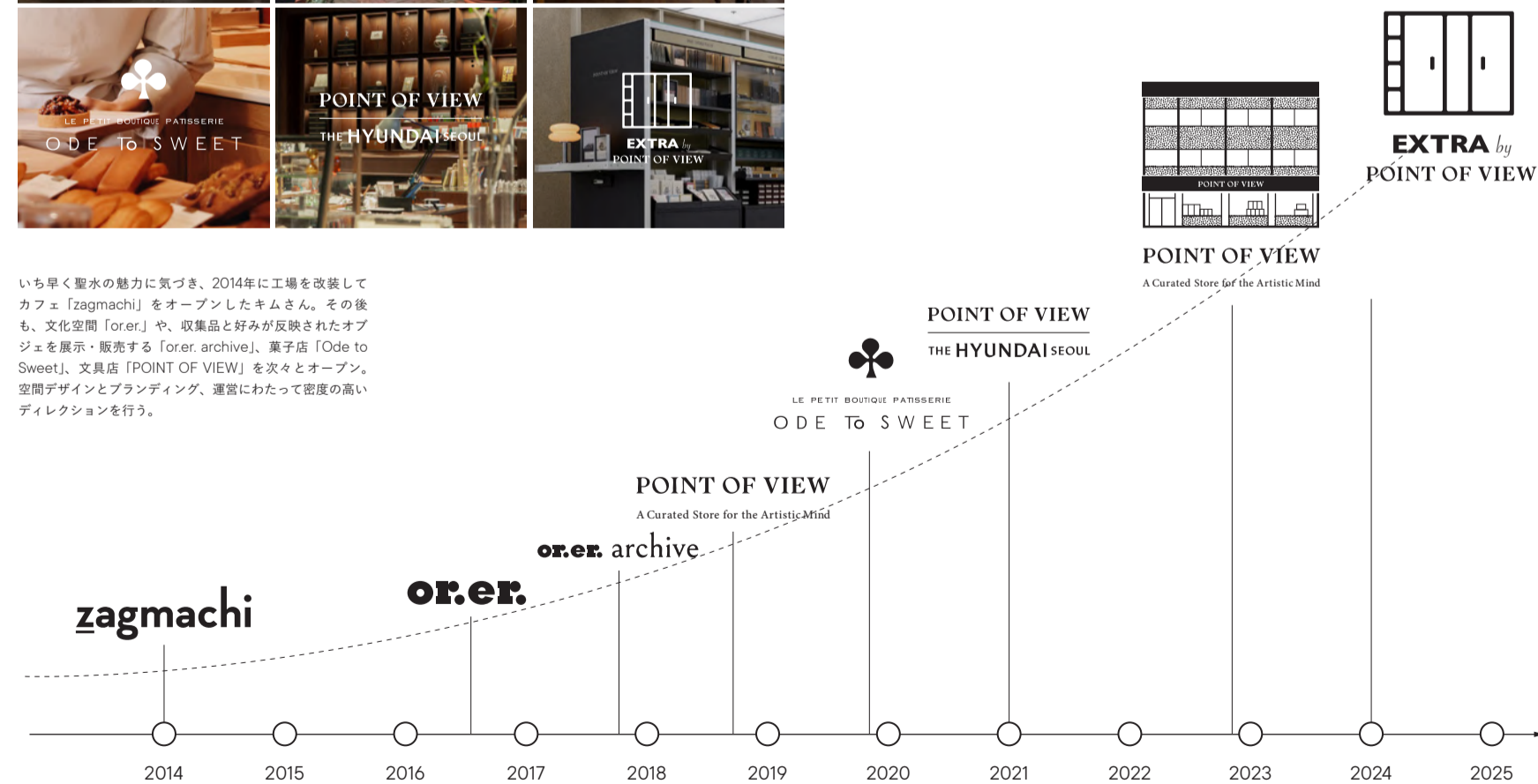
変わりゆく聖水の中で、ひととき輝き続けているのがキムさんのPOINT OF VIEWです。3階建ての文房具を中心としたセレクトショップで、創作のプロセスを反映したフロア構成になっています。店内には、日本を含む海外のステーションナリーや革製のお財布、オリジナルで製作した手帳やノートが並んでいました。聖水のメインストリートには店前にデジタルサイネージを出すお店や、華やかな装飾で目立たせるポップアップストアが並んでいます。そんな通りにおいて、POINT OF VIEWの主張しすぎないシックな店構えには、聖水の「たったひとり」であるキムさんの強い想いが滲んでいるように見えました。

キムさんのお話、今井は聞き入っていました。キムさんのお話に照らし合わせれば、安直に出店する「街の個性を無くすブランド」のひとつになってしまいかねません。キムさんの想いを、いかにSHIROの中に取り入れながらお店をつくっていくか。取材後、聖水のメインストリートを眺めながら、今井は考え込んでいました。

「海外でお店を出す。キムさんとお話して、改めてその行為の重さを感じました。単に出店するのではなく、土地の背景や歴史を尊重し、いかにお店づくりに反映させるか。まだ明確な答えは出ていませんが、キムさんの想いも、楽しいポップアップカルチャーも否定しないお店にします。目指すのは、『あのお店ができてから、聖水がもっと面白くなった』と言ってもらえるような存在です」



いち早く聖水の魅力に気づき、2014年に工場を改装してカフェ「zagmachi」をオープンしたキムさん。その後、文化空間「or.er」や、収集品と好みで反映されたオブジェを展示・販売する「or.er. archive」、菓子店「Ode to Sweet」、文具店「POINT OF VIEW」を次々とオープン。空間デザインとブランディング、運営にわたって密度の高いディレクションを行う。



レンガ造りの建物が並ぶ聖水 レンガ工場を訪ねて ヨンチョングンを訪れました

聖水の街を歩くと赤レンガの建物が目に留まります。それは、靴や革製品などの軽工業で栄えた街の記憶。断熱性や耐火性能が高いうえに、安価に生産できるレンガが建築材料として選ばれた理由でした。
ヨンチョン
連川郡にあるイレビョクドルを訪ね、
韓国のレンガの歴史と現在について伺いました。

Photographs & TEXT: SHIN SASAKI



現地に赴き、現物を手に取る 無造作に積み上げられたレンガと出会う

聖水を歩くと、ニューヨークのブルックリンやイースト・ロンドンの気配を感じます。文化の香りがする街であるのはもちろんですが、レンガ造りの建物が多いことも影響しているのかもしれませんが。ブランドプロデューサーの今井と、聖水店の設計を担当する建築家・小倉寛之さんが、韓国とレンガの関係を探って、ソウルから車で北へおよそ1時間、韓国北部に位置する連川郡にあるレンガ工場、イレビョクドル株式会社を訪ねました。

工場で私たち編集部を迎えてくれたのは、ディレクターのイ・スンジェさん。3代目である妻のソン・ヨンギョンさんとともにレンガ工場を経営しています。出荷準備が整い高く積み上げられたレンガの隙間を抜けて歩いてみると、無造作に積み上げられているレンガの一角が目にとまりました。そこには発色が悪かったり、欠損しているなどの理由で不良品と判定されたレンガが捨てられていました。小倉さんがレンガの山に向かって歩み寄り、霜がついたレンガを品定めします。色やサイズが不揃いだから建材としては使えないそうですが、SHIROが什器として使用する分にはなんの問題もなさそうです。むしろ、唯一無二の個性的な素材として魅力を感じます。



ものづくりの現場の人手不足 現場を開き、若者や子どもたちに伝えたい

1960年代に産業化が加速した韓国では、工場や倉庫が次々と建設されました。その時に選ばれた建材がレンガでした。耐久性が高く、断熱性と防火性能に優れているうえに、大量生産することで価格を安く抑えられたのが選ばれた理由。1980年代になるとアパート建設がピークを迎え、レンガの需要はさらに高まりました。当時韓国には200~300軒のレンガ工場が稼働していたといいます。しかし、材料費や人件費の高騰によりレンガの価格が高騰し、鉄筋コンクリートやガラスなどにその座を奪われてしまいました。1997年に起こったアジア通貨危機の影響で経済が打撃を受ける中、レンガ工場の数は減少し続け、現在残っているのはわずか18件といいます。

聖水に建つ赤レンガの建物は、1960年代から80年代にかけて靴工場を中心とした工業地帯として栄えた名残です。聖水がある城東区では歴史的価値のある赤レンガ建築物を保存するだけでなく、新たに建物を建てる時にレンガを使うことに補助金を出して後押しするなど、レンガは聖水のアイデンティティになっています。聖水店の店内では、この日現地の工場に足を運んだからこそ出会うことができたレンガを使用しています。ぜひ店内を見回してみてください。

ちなみに、工場や畑などの生産現場を視察しようとすると、韓国ではなかなかスムーズに話が進みません。危険だからとか、企業秘密だからなど、さまざまな理由で断られてしまいます。私たちは生産者の想いを大切にしています。生産者の想いを理解し、SHIROの製品やお店を通じて多くの方にその想いを届けたいと考えています。だからこれからも現場に足を運び続けます。「こんな素敵な素材があるよ」「魅力的な生産者を知っているよ」という方は、ぜひ、スタッフに声をかけてください。



SHIRO Seongsu



世界にひとつだけ 自分だけの フレグランスミストがつくれる

90mL / 70,000ウォン

2階のショップ内にあるハーブブレンダーラボでは、ものづくり体験ができます。好きな香りをブレンドして世界にひとつだけの「フレグランスミスト」がつけれます。ブレンドする香りは定番5種に加え、これまで限定の香りでも好評だった2種、そして韓国限定スズランの計8種。香りの強さは「しっかり」と「ふんわり」のどちらかを選べます。最後に店の2階で育

てた6種のハーブの中から1種を選びボトルに入れたら完成です。ハーブをいれた瞬間から自然の恵みやパワーを感じられるエキスが溶け込み、フレグランスの色が変化していきます。フレグランスがどのような原料から、どのようにつくられるかを知ること、興味・関心を広げていただきたいという想いが届きますように。



※状況によってサービスの詳細とスタート時期が変更になる場合がございます。

スズラン オードパルファン

SHIRO から韓国の皆さんへ贈る 韓国限定の香り

40mL / 46,000ウォン

韓国で「幸福を運ぶ花」として、大切な人へ贈るスズランの香りが韓国限定で登場。ベルガモットの爽やかさにスズランがあわさり、最後にやさしい甘さが包み込むグリーンフローラルの香り。春に咲くスズランはまるで、お店のオープンをお祝いしてくれているよう。

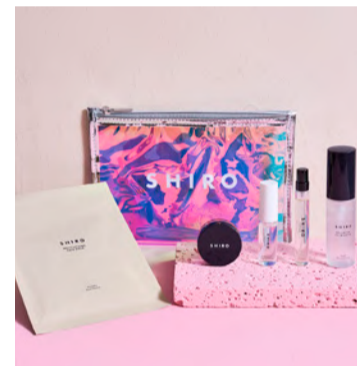


SELECT YOUR BEST

あなたのために 厳選されたアイテムをお届けします

96,000ウォン

「SHIRO Seongsu」のオープンを記念して、韓国の皆さんの笑顔を思い浮かべながら、SHIROのフレグランス、スキンケア、メイクアップアイテムから計5アイテムをセレクト。可愛いポーチにすべてが収まるキットをご用意しました。限定1,000個を販売します。



左から、がごめ昆布フェイスマスク / オーロラポーチ / シアチェックカラー / スズラン オードパルファン / フリージア ミストオードパルファン / ゆずオイルインウォーター

SHOP LIST

北海道

SHIRO 砂川本店	北海道砂川市豊沼町54-1 みんなの工場内
SHIRO 札幌ステラブレイス店	北海道札幌市中央区北5条西2-5 JRタワー札幌ステラブレイス センター B1

関東

SHIRO 表参道本店	東京都渋谷区神宮前5-2-7 2F
SHIRO BEAUTY 表参道本店	東京都渋谷区神宮前5-2-7 B1F
SHIRO 自由が丘店	東京都目黒区自由が丘2-9-14 アンソルティ1F・B1F
SHIRO ルミネエスト新宿店	東京都新宿区新宿3-38-1 ルミネエスト新宿 B1
SHIRO 伊勢丹新宿店	東京都新宿区新宿3-14-1 伊勢丹新宿店本館1階=イセタンビューティー コスメティックス / SHIRO
SHIRO 丸ビル店	東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル B1F
SHIRO 銀座三越店	東京都中央区銀座4-6-16 銀座三越 地下1階 ギンザコスメワールド
SHIRO +Q (プラスク) ビューティー 渋谷スクランブルスクエア店	東京都渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア ショップ&レストラン6階 SHIRO +Q (プラスク) ビューティー店
SHIRO 渋谷ヒカリエ ShinQs 店	東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ ShinQs 1F
SHIRO ルミネ池袋店	東京都豊島区西池袋1-11-1 ルミネ池袋 B1
SHIRO 玉川高島屋 S・C 店	東京都世田谷区玉川3-17-1 玉川高島屋 S・C 南館 1F
SHIRO ルミネ北千住店	東京都足立区千住旭町42-2 ルミネ北千住 3F
SHIRO ルミネ横浜店	神奈川県横浜市西区高島2-16-1 ルミネ横浜 1F
SHIRO ルミネ大宮店	埼玉県さいたま市大宮区錦町630番地 ルミネ大宮店 ルミネ2 3F
SHIRO/TIAT DUTY FREE BEAUTY	東京都大田区羽田空港 3-4-2 第2ターミナル 3階 国際線出国エリア内

中部

SHIRO タカシマヤ ゲートタワーモール店	愛知県名古屋市中村区名駅1-1-3 タカシマヤ ゲートタワーモール 6F
SHIRO ジェイアール名古屋タカシマヤ店	愛知県名古屋市中村区名駅1-1-4 ジェイアール名古屋タカシマヤ 3F 化粧品

中国

SHIRO ミナモア広島店*	広島県広島市南区松原町2番37号 ミナモア広島 2F 東
----------------	------------------------------

近畿

SHIRO 大丸京都店	京都府京都市下京区四条通高倉西入立売西町79 大丸京都店 1F
SHIRO ルクア イーレ店	大阪府大阪市北区梅田3-1-3 ルクア イーレ 2F
SHIRO 阪急うめだ店	大阪府大阪市北区角田町8-7 阪急うめだ本店 3F HANKYU BEAUTY
SHIRO 大丸心斎橋店	大阪府大阪市中央区心斎橋筋1-7-1 大丸心斎橋店本館 1F
SHIRO 大阪タカシマヤ店	大阪府大阪市中央区難波5-1-5 高島屋 大阪店 1階化粧品売場
SHIRO 大丸神戸店	兵庫県神戸市中央区明石町40番地 大丸神戸店 本館 1F 化粧品

九州

SHIRO 岩田屋店	福岡県福岡市中央区天神2-5-35 岩田屋本店 本館1階=化粧品
SHIRO 博多阪急店	福岡県福岡市博多区博多駅中央街1-1 博多阪急 1F 化粧品

Taiwan

SHIRO 新光三越台北信義新天地A11店	台湾台北市信義區松壽路11號1樓
-----------------------	------------------

London

SHIRO Monmouth Street	Ground Floor, 63 Monmouth Street, London, WC2H 9DG, UK
-----------------------	--

South Korea

SHIRO Seongsu**	57, Yeonmujang-gil, Seongdong-gu, Seoul, Korea
-----------------	--

*1 2025年3月24日(月)オープン予定

*2 2025年4月26日(土)オープン予定

SHIRO
PAPER

KOREA Issue 1

発行：株式会社シロ

お問い合わせ

TEL: 0120-275-606

MAIL: info@shiro-shiro.jp

編集長：今井浩恵

Editor in Chief: Hiroe Imai

クリエイティブ・ディレクター：佐々木信 (3KG)

Creative Director: Shin Sasaki

ライター：泉秀一

Writer: Hidekazu Izumi

表紙写真：佐々木信 (3KG)

Cover Photograph: Shin Sasaki

発行人：福永敬弘

Publisher: Takahiro Fukunaga

グラフィックデザイナー：石田愛実 (3KG)

Graphic Designer: Manami Ishida

編集：河合裕子

Editor: Yuko Kawai

編集：小林穂乃香

Editor: Honoka Kobayashi

編集コミュニケーション：イ・ジナ

Editorial Communicator: Jina Lee

翻訳・校閲：ソ・ハナ

Translator & Proofreading: Hana Seo

Thanks to:

キム・ジェウォン / ハン・サンオク /

イ・ジュヨン / チェ・ヒョナ / カン・ボラ /

SE Internationalの皆さん / イ・スンジェ /

イレビョクドルの皆さん / キム・ビョンチョル /

MUGUASU / 小倉寛之 / 高山泉 /

野村高文 / 北崎千鶴 (敬称略・順不同)

Copyright © SHIRO Co., Ltd.

All Rights Reserved.

本誌掲載の写真、イラストレーション、記事、

ロゴの無断転載および複写を禁じます

shiro-shiro.jp

② shiro_japan

② shiro_sunagawa

② maisonshiro_

